



厚生労働省の肝炎総合対策のマスコットキャラクター
「かんちゃん」

(資料提供)
令和4年7月26日
課名：薬務課
担当者：岡田
内線：3220
ダイヤル：082-513-3078

一生に一度は肝炎ウイルス検査を ～7/28 街頭キャンペーンで呼びかけ～

世界保健機関（WHO）は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止等の推進を図ることを目的として、7月28日を『世界肝炎デー』と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱しました。

わが国も、7月28日の世界肝炎デーを「日本肝炎デー」と定めて肝炎に関する正しい知識の普及啓発を図ることとしています。新型コロナウイルス感染症の影響により、街頭啓発活動を2年間中止していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症に留意しながら、広島駅北口で普及啓発キャンペーンを実施します。ついては、貴メディアでキャンペーンの様子を取材していただきますようお願い申し上げます。

《キャンペーンの概要》

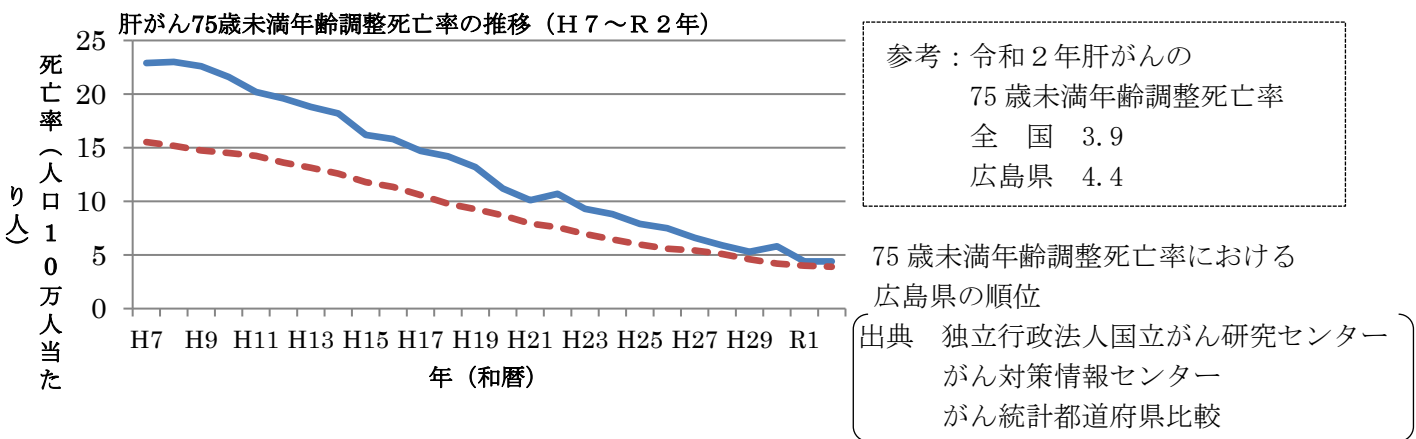
○ 街頭啓発活動

- (1) 日時 令和4年7月28日（木）9：30～11：00
- (2) 場所 広島駅北口ペデストリアンデッキ
- (3) 内容 啓発資材を配布し、肝炎ウイルス検査の受検を呼びかけます。
- (4) 目的 肝炎ウイルス検査で早期発見、早期治療により肝がんになるリスクを下げられることを伝えて、県民全員に肝炎ウイルス検査を受けてもらいたい。
差別・偏見を解消するべく、正しい知識を普及したい。
- (5) 参加者 広島大学、全国B型肝炎訴訟広島原告団、アッヴィ合同会社、協会けんぽ広島支部、広島産業保健総合支援センター、広島県

《参考：肝がん等の現状》

本県は全国と比較して肝がんの死亡率が高いため、全国に先駆けて肝炎対策を実施してきました。

その結果、全国平均よりも高かった肝がん75歳未満年齢調整死亡率の都道府県別順位が、令和2年にはワースト11位となり、改善傾向にあり全国平均へと近づいています。



しかし、県内には、肝炎ウイルスに感染していることを認識していないキャリアが、B型肝炎ウイルスでおおよそ9,800人、C型肝炎ウイルスでおおよそ3,300人いると推測（出典：厚生労働省肝炎等克服政策研究事業）されています。

早期発見・早期治療のため、一生に1度は肝炎ウイルス検査の受検が必要です。